

事業計画書

自 令和8年4月 1日
至 令和9年3月31日

公益財団法人 出羽庄内国際交流財団
鶴岡市伊勢原町8-32

令和 8 年度 事業計画

はじめに

本市の外国人登録者数は、令和 7 年 1 2 月末現在 1 0 4 7 人（前年同期比 8 9 人増）で、国別では、①ベトナム 2 6 9 人（1 7 人増）、②中国 1 7 3 人（同 1 人増）、③フィリピン 1 2 3 人（同 3 人増）、④ミャンマー 8 6 人（同 3 0 人増）、⑤インドネシア 7 7 人（同 1 1 人増）が上位となっています。

直近、2 月末のデータからも増加を続けており、上位を占める出身国は変わらないものの、ミャンマーが大きく割合を伸ばしています。

■ 国籍別人口の推移（市民部市民課提供データから）													前年比 + 22 人
各年 12 月末現在。令和 8 年は 2 月末（単位：人）													1 月 6 日
	平成 15 年	平成 20 年	平成 25 年	平成 30 年	令和 元年	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	対前年 増減比
外国人人口総数	680	901	620	725	807	744	686	789	864	958	1047	1069	2.1%
うち中国	459	611	378	224	224	200	183	174	174	172	173	171	-1.2%
うちベトナム	7	12	17	193	244	238	189	201	252	252	269	272	1.1%
うち韓国	63	99	80	65	65	63	60	61	61	62	62	62	0.0%
うちフィリピン	47	52	42	63	66	74	68	100	118	120	123	128	3.9%
うちインドネシア	11	7	17	33	40	24	24	53	37	66	77	81	4.9%
うち台湾	0	0	3	23	22	21	20	27	28	22	26	26	0.0%
うちアメリカ	10	16	13	16	17	19	21	24	26	25	28	28	0.0%
うちネパール	0	0	3	6	5	8	9	11	11	17	23	23	0.0%
うちタイ	7	17	12	17	23	13	12	22	17	28	29	25	-16.0%
うちカンボジア	0	1	0	18	23	19	19	15	25	25	22	21	-4.8%
うちモンゴル	2	6	6	7	7	8	10	14	18	11	16	16	0.0%
うちミャンマー	2	1	1	1	0	0	1	1	14	56	86	102	15.7%
うちインド								2	3	5	13	13	0.0%
その他	83	104	70	108	129	105	121	149	168	97	100	101	1.0%
注 1：各年 12 月末現在。													
参考 酒田市		521	501	480	530	490	476	474	546	617	685		

登録者数が伸びているのは、外国人技能実習生受入監理団体との連携による技能実習生の受け入れ、山形大学農学部等の高等教育機関の留学生の受け入れ、サイエンスパーク内各企業の外国籍研究者等の配置などが、継続して増加の傾向にある他、ミャンマーについては政情不安などの要因から、諸外国への流出が背景となっています。

そうした中、鶴岡市は令和 6 年 2 月に、多様な文化を尊重し互いに認め合う多文化共生のまちづくりの推進と国際化対応の充実を図ることを目的に、「鶴岡市国際化推進プラン」が策定され 3 年目を迎えます。引き続き関係方面と連携し、事業展開を図って参ります。

一方、山形県においては昨年３月に「山形県多文化共生推進プラン」を策定し、（公財）出羽庄内国際交流財団（以下、「財団」という。）として、多文化共生地域コーディネーター事業を受託するなど、県と連携しながら、事業を推進しているところです。

財団として、令和８年度は、先の外国人の増加動向や、外国人の抱える生活課題や情勢を踏まえ、国際感覚豊かな人材の育成や在住外国人を含む地域住民が安心して生活できる多文化共生のまちづくりに向け、①「国際交流の促進」、②「国際理解の促進」、③「多文化共生の促進」を主要な事業項目として掲げ、事業を進めてまいります。その実現のために、国際交流団体やボランティアをはじめとする多くの住民の方々と連携、協調を図りながら各種事業を展開してまいります。

さらに、多文化共生に関わる外国人相談窓口を継続して開設し、職員体制の充実を図り、庄内地域の中核的機能とされる鶴岡市国際交流センターとして、行政、企業、各団体等と連携しながら相談・支援体制を充実してまいります。

また、昨年度から進めてきた施設の長寿命化対策で、一部リニューアルをはかり、貸館スペースも拡大し、利便性が向上したことから、日本語教室の開催スペースが増え、世界の料理の実践や、鶴岡市の食文化発信に大いに期待しているところです。

１．国際交流促進事業

（１）交流イベント開催・支援

各国際交流関係団体、ボランティアの方々とともに、国際村を会場に各種交流イベントを実施する。

○ワールドバザール

国際交流関係団体を中心に実行委員会を立ち上げ、様々な国や地域の料理や雑貨の販売、ステージ発表を行い地域在住の外国出身者と住民との交流を促進する。

○出羽庄内国際村音楽祭

普段聴く機会の少ない民族音楽などを紹介するコンサートを開催し、国際理解を図る。

○新年を祝う会

日本語教室の指導ボランティアと学習者を中心に新年行事を企画し、国際村を利用している在住外国人・主催各講座の講師・受講者の交流を図る。

(2) 交流事業の実施・支援

○コロラド州中高生訪問団の受入れ

コロラド州中高生訪問団については、地域でのホームステイや学校訪問を通して相互の理解や交流を深める（6月中旬7名の受入れ予定）。期間中、地域の中高生との英語特別講座を実施する。



あさひ小学校との交流

○地域留学生ホームステイ/ホームビジット事業

庄内地域の高等教育機関に在籍する留学生を対象に参加者を募集。出羽庄内国際村に登録しているホストファミリーとのマッチングを行い、季節の行事やホームステイなどで、市民とともに体験事業、交流を図る。

(3) 国際姉妹・友好都市等との交流の促進

国際姉妹都市ニューブランズウィック市（アメリカ・ニュージャージー州）、国際友好都市ラフォア市（フランス領ニューカレドニア）と本市との友好協会、それに鶴岡田川地区日中友好協会の事務局業務を担い、それぞれの協会の一層の充実とともに、市民レベルでの交流促進を図る。

※ 鶴岡・ニューブランズウィック姉妹都市友好協会（佐藤公力会長）

1983（昭和58）年5月 設立

令和8年度3月に、鶴岡市訪問団がニューブランズウィックを生徒相互交流の一環として渡米予定となることから、派遣について鶴岡市教育委員会と連携・協力をする。

※ 鶴岡・ラフォア友好協会（黒井秀治会長）

1992（平成4）年10月設立

学生の相互の訪問団派遣・受入れは予定なし。
盟約30周年イベントの為、市が訪問団をラフォア市へ派遣、現地で式典開催予定（会長も参加）。

※ 鶴岡田川地区日中友好協会（佐藤聡会長）

1982（昭和57）年12月設立

中国語講座第47期の開設をする。



ワールドバザール日中友好協会展示

2. 国際理解促進事業

(1) 外国語講座の開講

○語学講座

英語、中国語、韓国語、フランス語の外国語講座においては、それぞれテキスト等による語学習得に加えて、外国出身の講師と実際に交流することにより、その国や地域への理解を深める。令和8年度は短期講座としてタイ語講座を開講する。

○フリートーク型講座

英語、中国語、韓国語、スペイン語、フランス語のフリートーク型の講座を開講する。また地域の観光地や飲食店等の協力を得て、より実践的な会話習得の環境づくりにも取り組む。

○韓国語特別講座

韓国出身の講師と共に実践的な言語習得のための講座を企画し、文化や習慣への理解を深める体験型学習を実施する（※講師の都合等により中国語、韓国語以外での言語での講座開催の可能性有）。

○英語特別講座

英語圏出身の講師と共に、生活や文化の中で使用される生きた英語を学びながら、言語や文化への理解を深める講座を実施する。

○多言語での絵本読み聞かせ（新規）

新施設を利用した外国語または外国文化を反映した絵本の読み聞かせを行い、国際理解を促進するとともに、新施設の利用につなげる。

(2) 国際理解講座等の開催

○ワールドコミュニケーションクラブ活動の推進

英語やいろいろな国との交流に興味がある中・高・高専生を対象に開催

○せかいの台所（料理教室） 施設改修のため4回の開催

○その他国際理解に資する事業の実施

◇フレンドシップサロンの開催

◇中学校・高校・大学の職場実習・研修等の受入れ

○庄内地区の中学1，2年生を対象の英語の暗唱大会支援

大会の趣旨が国際語である英語に親しみ、言語力を高めグローバル社会の一員に資する、国際感覚豊かな青少年の育成を目指す取り組みであることから、賛助会員等の国際交流関係団体が企画運営する大会について、支援する。

(3) 小・中・高校生向け国際理解講座開催/課題研究等支援

国際理解、国際交流についての各学校の授業に対して人材、内容、情報の提供や、課題研究等への協力、サポートを実施する。

(4) コロラドスタディツアーに関する情報提供

ワールドコミュニケーションクラブ会員をはじめ、地域の中学生・高校生から社会人までを対象とした訪問団を山形県の姉妹州であるアメリカ・コロラド州に派遣し、ホームステイ等を通して地域の青少年の国際感覚の育成、英語実践力の向上、国際理解を深めるための派遣事業を実施してきた。本事業については、対象者のニーズや受け入れ側の体制状況を踏まえ、情報提供や受け入れ担当者との情報交換を行う。

3. 多文化共生促進事業

(1) 日本語教室運営支援事業

国際村日本語教室の運営支援及び日本語指導ボランティアの研修事業実施への支援を行う。

○日本語教室概要

指導者：日本語指導ボランティア 59名（令和8年2月末現在）

学習者：130名

会 場：出羽庄内国際村（月曜（休館日）以外の全ての曜日）

にこ・ふる、第三コミセン

その他：冬期間や交通事情などで会場まで通えない学習者に対しては、オンライン講座開設するなどして学習の継続に努める。

○地域行事参加研修事業

庄内地域の祭事や行事に参加し、日本文化を体験する。

○日本語スピーチコンテスト実施事業

庄内地域の国際交流関係機関・団体、日本語教室等と連携し、庄内在住の外国出身者による日本語スピーチコンテストを実施する。（会場：三川町）

○日本文化体験講座の実施

「器の会」（日本家庭料理教室）、茶道体験、書道教室

○日本語指導ボランティア研修講座の実施

○日本語指導ボランティア スキルアップ研修会の実施

○やさしい日本語研修会（主催）

行政手続きや災害情報など、生活に関わる内容を扱う研修会として開催する。在住外国出身者に参加してもらい、グループワークなどを取り入れたよ

り実践的な研修会を行う。

○やさしい日本語の普及（協力）

地域で行われる研修会や市主催研修会など、様々な機会をとらえ、地域住民である外国出身者とのより円滑なコミュニケーションの促進のため、やさしい日本語の研修会を支援する。

○日本語教育地域コーディネーター事業（継続）

山形県が取り組む令和８年度山形県日本語教育コーディネーター事業の「地域コーディネーター」として、庄内地域の日本語教室開催支援や日本語学習支援者の育成、やさしい日本語の普及などに取り組む。

（２）生活相談業務実施事業

○生活相談窓口

窓口及び携帯電話による多言語での相談受付
（英語・中国語・韓国語・日本語）

○コミュニティ通訳派遣事業

生活に関する医療、司法、行政、教育などに関する通訳を「コミュニティ通訳」登録者から派遣し、外国出身者が言語の違いによる障壁なく、速やかに行政サービスを受けることができる体制を整える。

（令和８年２月現在　１５言語　１３２名が登録）

○コミュニティ通訳ボランティアの養成

通訳の養成と技術向上のため、英語、中国語、韓国語の各グループによる自主勉強会等を継続して行うとともに、年数回の全体研修会を実施し翻訳やコミュニティ通訳の専門家らから技術等を学ぶ機会を設ける。生活に関わる内容だけでなく、庄内の観光に関する通訳・翻訳も勉強会の内容として取り入れる。

○災害時の通訳ボランティア等支援者の役割や運営を想定した研修会の開催

通訳や鶴岡市防災安全課などの地域の支援関係機関と連携し、在住外国出身者が災害にあった際に、役立つ研修会を開催し、外国出身者の防災への意識を高めると共に、災害時の支援者ネットワーク構築を図る。

◇防災の基礎知識について記載した　多言語防災ハンドブックの活用



鶴岡市総合防災訓練への参加

- 各分野での通訳・翻訳等への協力
 - 必要に応じた各種情報等の翻訳協力
- 外国人児童生徒への支援協力に伴う関係機関との連携強化

(3) 情報収集提供事業

- 広報「国際村だより」による情報提供
- インターネットホームページによる情報提供
 - 講座やイベントの告知、報告など、最新情報を提供する。
 - 国・県・市等から出される緊急情報について、「多言語」や「やさしい日本語」にし、ホームページや SNS 等で情報提供する。
- 出羽庄内国際村の多言語案内パンフレットの配布
 - 外国人相談窓口と日本語教室を案内するために作成した日本語を併記した多言語（英語・中国語・韓国語）案内パンフレットを、鶴岡市役所市民課窓口及び国際村窓口で配布する。
- 多言語生活ガイドブックの配布
 - 地域在住の外国出身住民向けに作成、生活をするうえで身近にある施設や制度、また、外国出身者として必要な情報を掲載したガイドブック及びマップを、鶴岡市役所市民課窓口及び国際村窓口等で配布する。
- 外国人に役立つ情報の提供
 - ◇観光ガイド「鶴岡」の多言語（英語・中国語・韓国語）版の提供
 - 鶴岡市観光物産課で作成した観光ガイド「鶴岡」を基本とした情報を翻訳し、ホームページで公開する。
 - ◇多言語防災ハンドブック配布・活用
 - 様々な災害に備え、防災の基礎知識について記載したハンドブックをホームページ等で公開するほか、関係機関への配布や活用を図る。
 - 対応言語は、英語、中国語、韓国語、ベトナム語、やさしい日本語
 - ◇「やさしい日本語」を用いた LINE 等による国際村事業、外国人向けの情報、鶴岡市等公的な通知などの情報発信。
 - ◇翻訳対応及び通訳者紹介等の協力

4. 国際村施設維持管理運営事業

出羽庄内国際村の施設管理運営については、円滑かつ公平な利用を確保し、地域・団体・国際交流活動の促進に貢献する。市の指定管理者として、適切な維持管理に努め、利用者の利便性およびサービス等の向上が図られるよう業務を実施する。

5. 法人管理運営事業

(1) 公益財団法人の運営

会計処理、情報開示、評議員会・理事会の運営等、公益財団法人としての適正な運営に努める。

基本財産のうち満期保有型の債券については市場動向や金利情勢など適正的確に判断し、中期的な運用に努める。

健康経営優良法人（中小規模法人部門）2026の認定を受け、職員の健康管理や働き方について経営的な視点で考え、環境を整えとともに、法人内外に理念を明文化し、周知していく。

(2) 賛助会員の拡大

○一般入会による加入

○せかいの台所入会による加入

○各種講座等受講者に対する加入の呼びかけ

※会費等

(年会費)	個人会員	大 人	3,000円／年
		高校・大学生	2,000円／年
		小・中学生	1,000円／年
	法人会員		10,000円／年

(会員特典)

- ・財団広報及び講座等の情報提供
- ・財団主催の語学講座等の受講料1割引